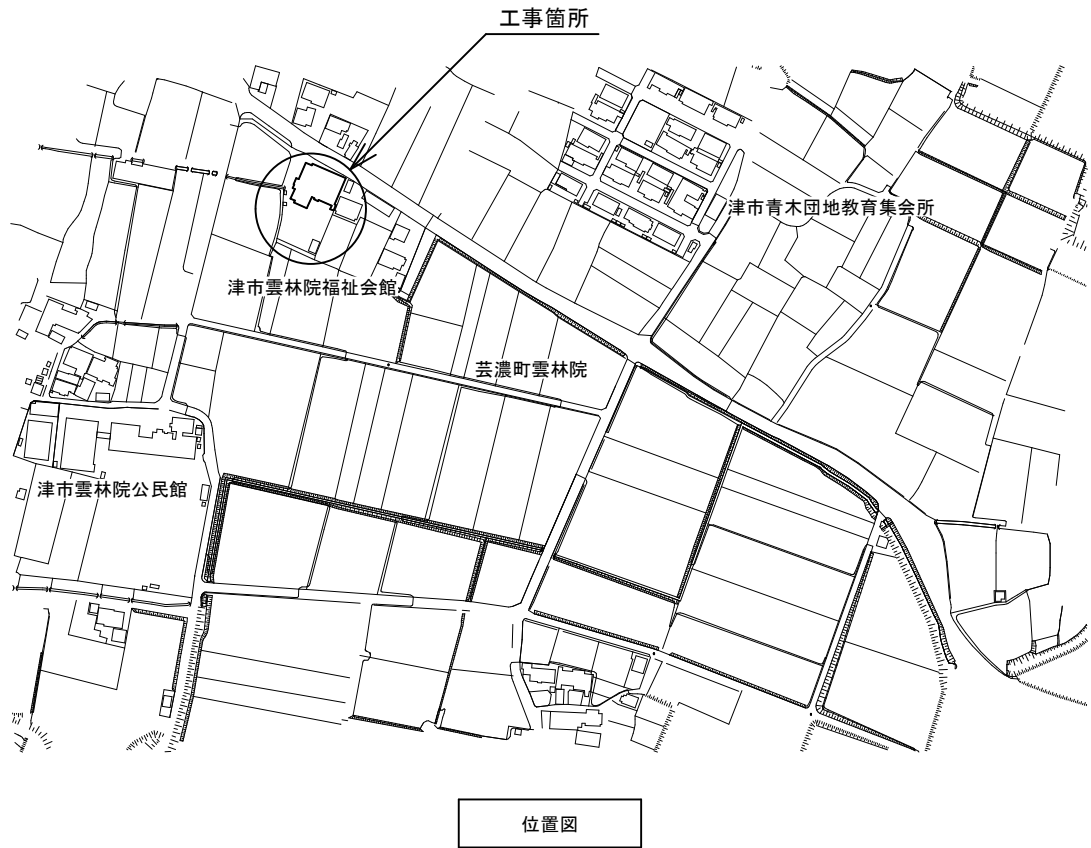




特記事項

(工事概要)

- ・既設の空調設備を撤去の上、機器の新設を行う。
- ※更新箇所は図示による

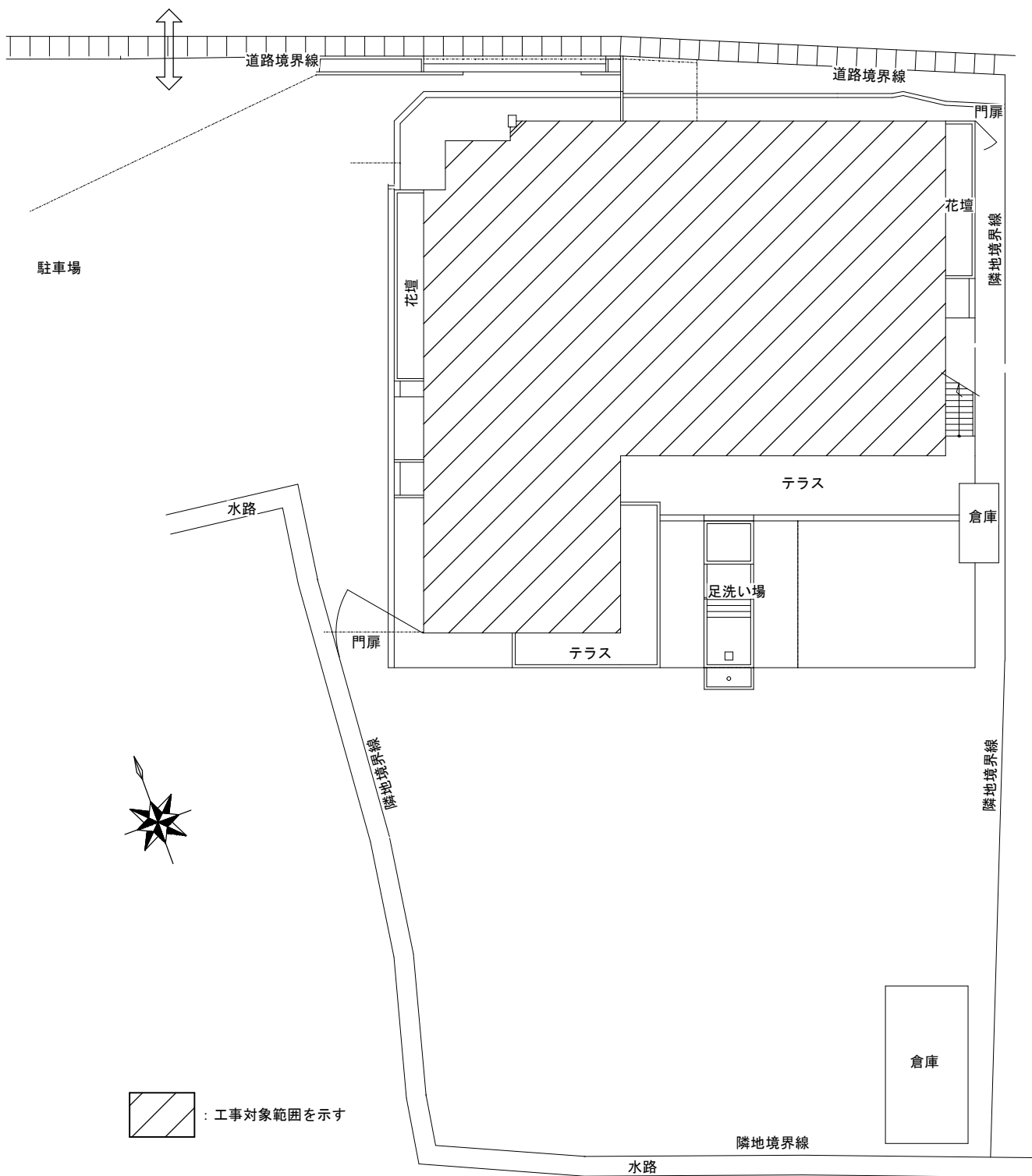
(施工条件)

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・工事期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。
- ・本工事は、平日作業可とするが、施設運営に支障のない範囲（騒音・振動の無い作業に限る）とする。
騒音を伴う作業を行う工程は施設管理者と協議のうえ決定すること。
- ・大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- ・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。
なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・工事用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手及び 工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

(解体撤去処分)

- ・本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・工事完了後、マニフェストA、B2、D票を市監督員に提示すること。
- ・工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告すること。
- ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「労働安全衛生法」「大気汚染防止法」等を遵守すること。
- ・「石綿障害予防規則」に基づく石綿作業主任者を選任し管理すること。
- ・当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を伴う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(令和2年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。

工事関係車両出入



: 工事対象範囲を示す

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」

「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」

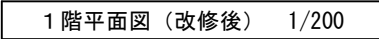
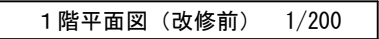
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）令和4年版」

「建築、電気、機械設備工事監理指針令和4年版」

独立行政法人 建築研究所監修

「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

津市雲林院福祉会館空調設備改修工事		縮尺 1/300
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図：A 3
		No. 1/4
津 市 建 設 部 営 繕 課		



機器表（新設） 空冷ヒートポンプ式			
記号	形式・名称	仕 様	台数
PAC-1	パッケージエアコン	冷房能力：25.0kW 暖房能力：28.0kW 3相200V	1
	天吊形 同時ツイン	ワイヤードリモコン、ドレンアップ、転倒防止金具	
		他付属品一式 室外機基礎：既製コンクリート架台	
特記事項			
運転特性、能力はJIS条件による。空調機トップランナー基準改定仕様とする。			
冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。			
機器は同等品以上とする。また、グリーン購入法基準を適用するものとする。			
機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。			

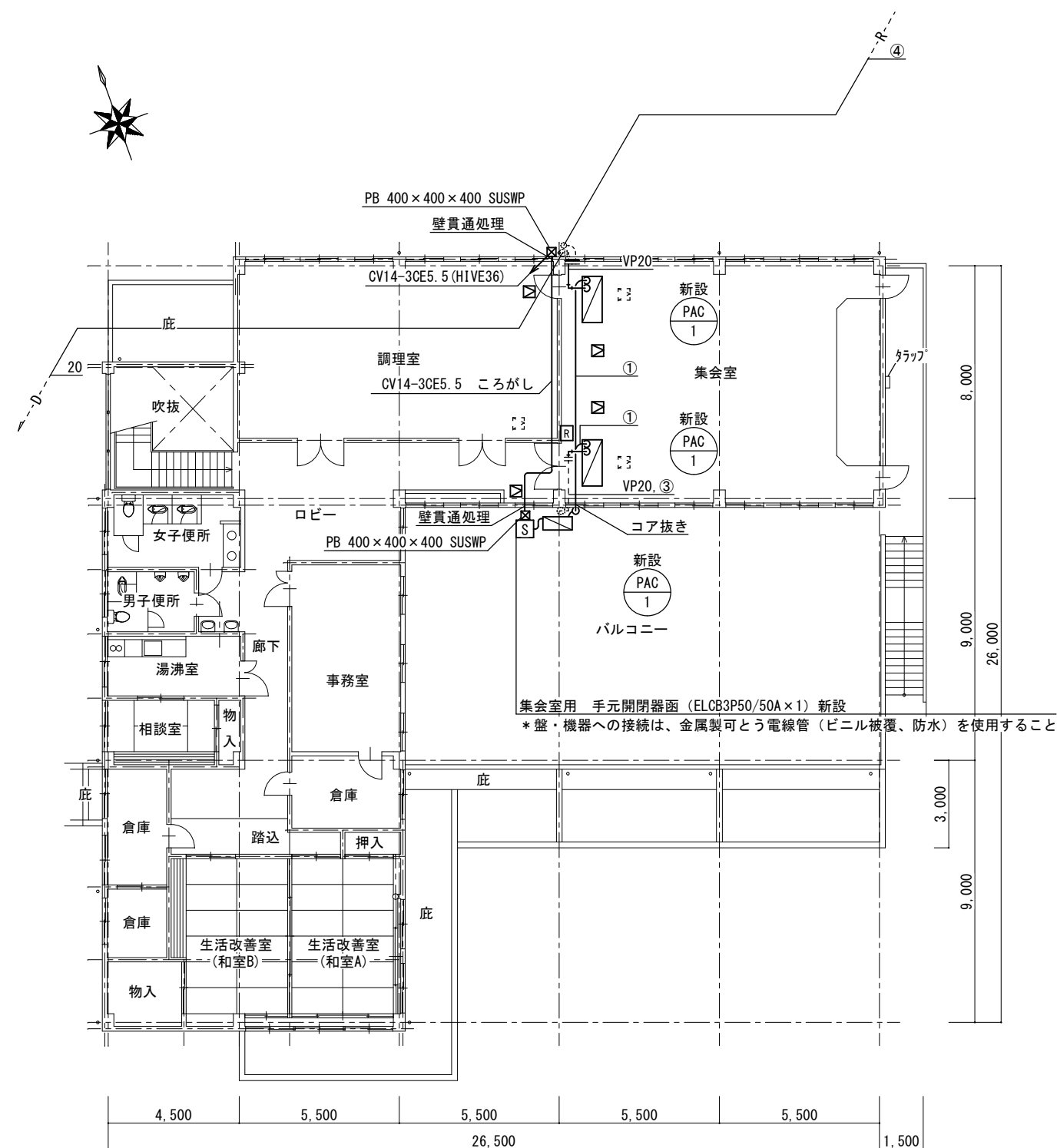
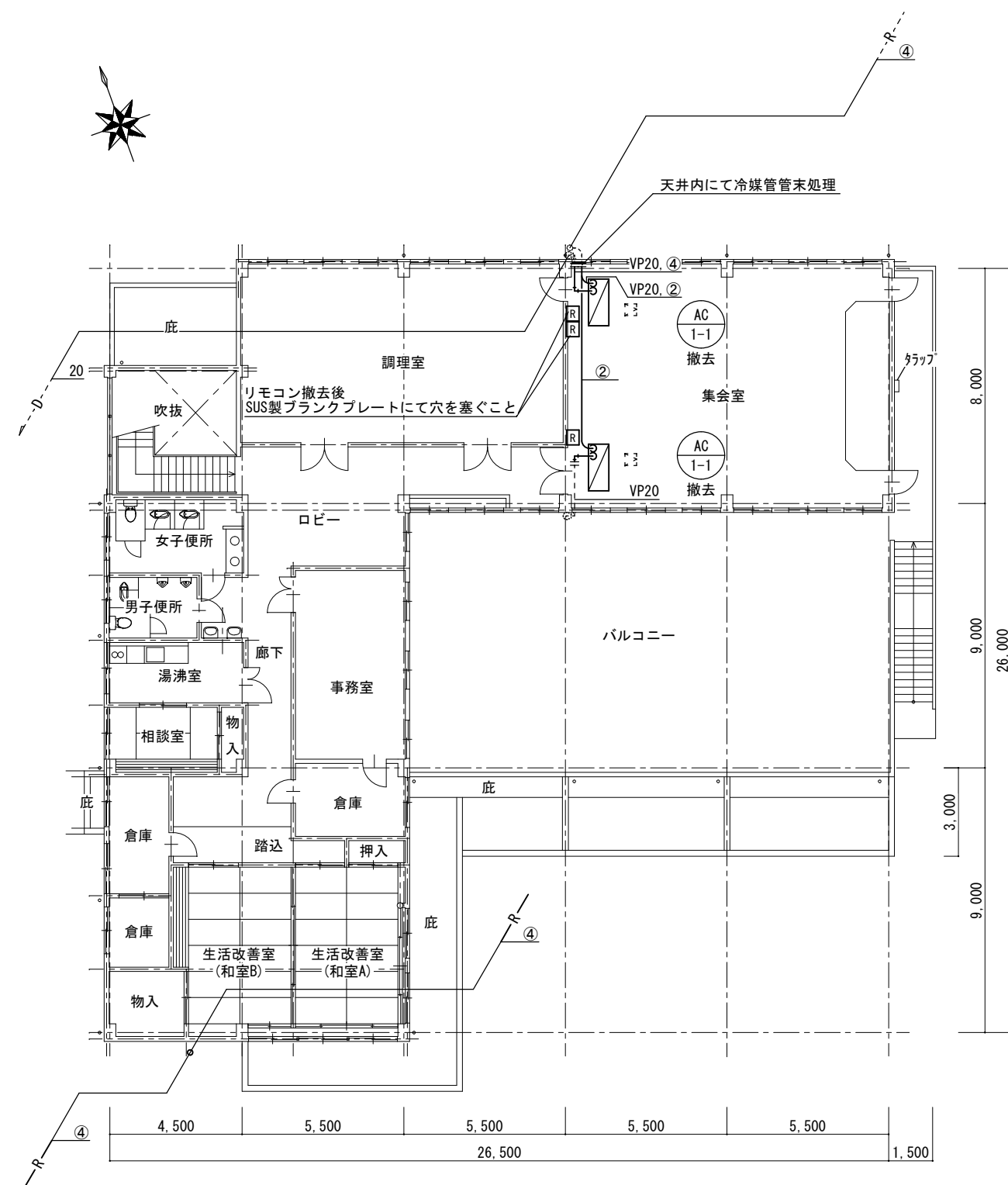
機器表（撤去） 空冷ヒートポンプ式			
記号	形式・名称	仕 様	台数
AC-1	ビル用マルチエアコン	冷房能力：28.0kW 暖房能力：24.0kW	1
	室外機 氷蓄熱式	既設機器型番：RAS-P224FCHT（室外機）、RT-500T（蓄熱ユニット）	
AC-1-1	ビル用マルチエアコン	冷房能力：14.0kW 暖房能力：16.0kW	2
	室内機 天吊り形	既設機器型番：RPC-P140K2	

凡例		
図示記号	名 称	備 考
	新設配管	
	既設配管	
	既設配管 新設配管接続部分	
	冷媒管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管:10mm ガス管:20mm 屋外露出:ホリスチン保温筒+SUSラッキング 仕上げ
	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 天井内:グラスウール+アルミガラスクロス化粧保温筒
	給水管	塩ビライン管 銅管 (SGP-VB)
	ワイヤードリモコン	
	新設天井点検口	□450
	既設天井点検口	□450

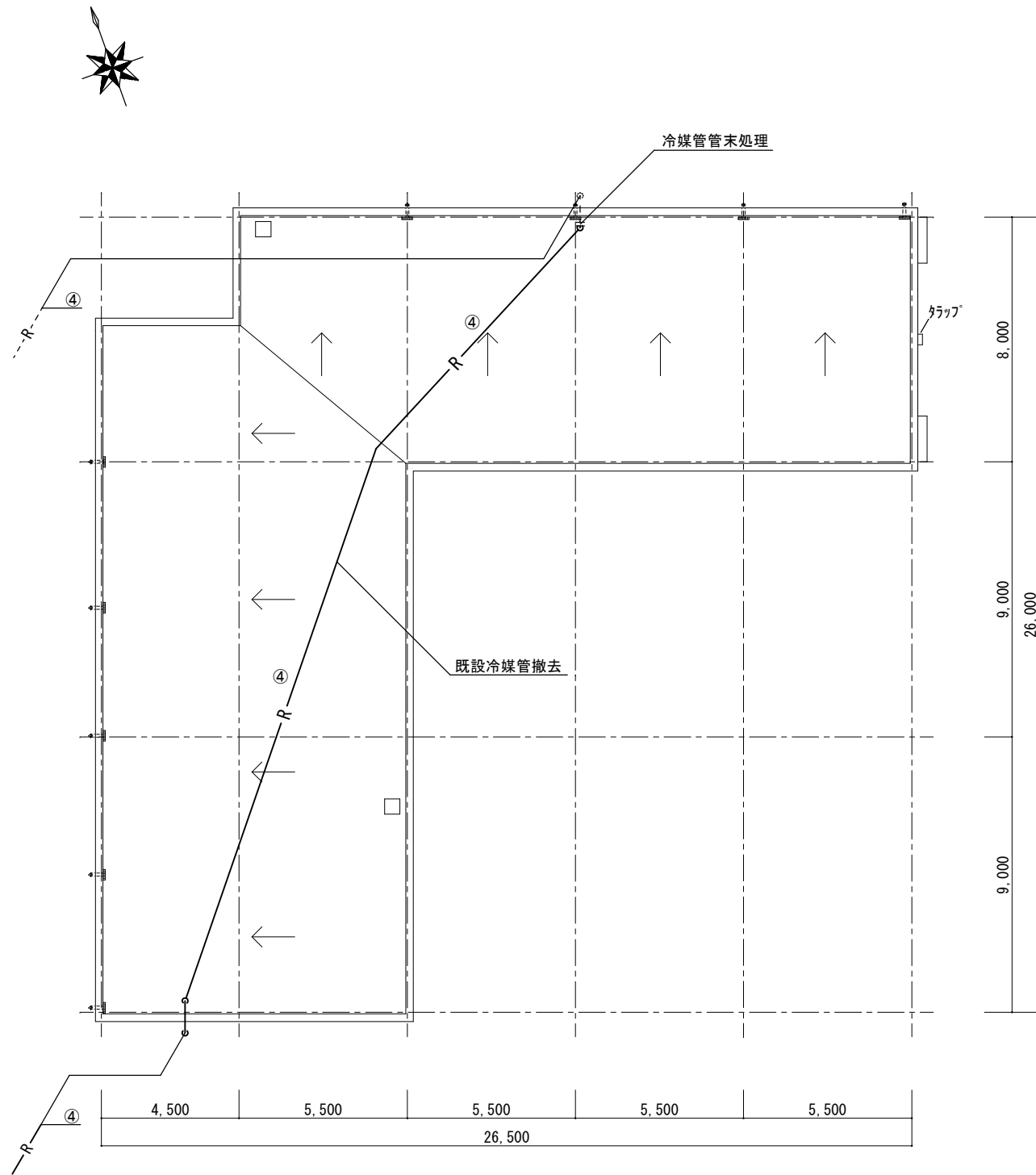
冷媒管リスト			
記号	液管	ガス管	室内外連絡線
①	φ 9.5	φ 15.9	EM-EEF2. 0-3C
②	φ 9.5	φ 19.1	
③	φ 12.7	φ 25.4	
④	φ 12.7	φ 28.6	
⑤	φ 12.7	φ 31.8	

空調設備工事要領 1. 空調室内外機を撤去、新設する。 2. ドレン管は既設配管に接続する。 3. ドレン管は切離し後、新設機器接続まで養生しておくこと。 4. 室外機はSUS製フルートにて固定、ワットにて締付けすること。 5. 室外機は転倒防止を施すこと。 ※外壁の塗材に石膏が含有しているため、適正に処理および処分を行うこと。 ※室外機の部品に石膏が含有しているため、適正に処理および処分を行うこと。
--

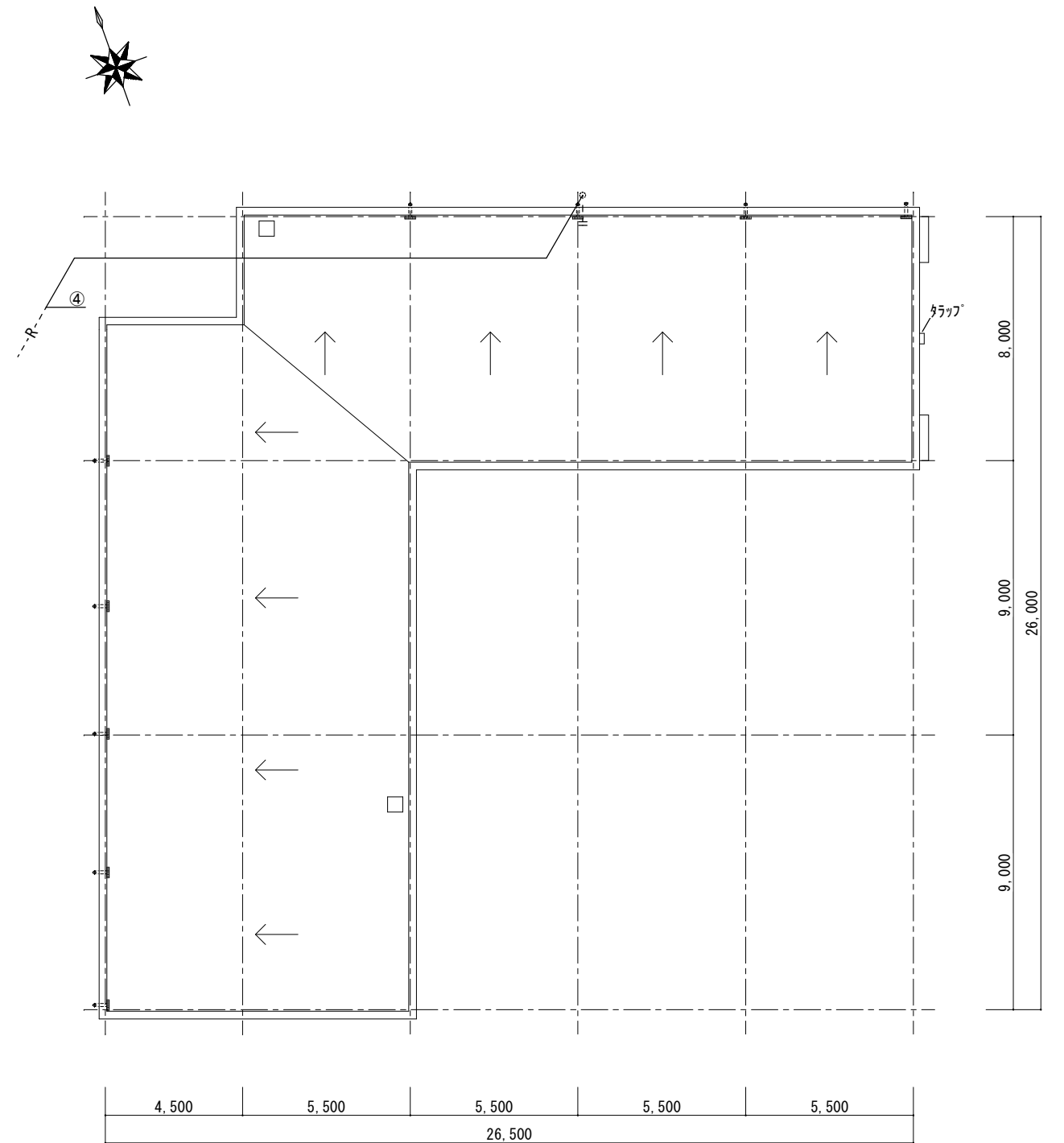
津市雲林院福祉会館空調設備改修工事		縮尺 1/200
図面名称	1 階平面図（改修前・改修後）	原図：A 3
津市建設部営繕課		No. 2/4



津市雲林院福祉会館空調設備改修工事		縮尺 1/200
図面名称	2 階平面図（改修前・改修後）	原図：A 3
津 市 建 設 部 営 繕 課		No. 3/4



R階平面図（改修前） 1/200



R階平面図（改修後） 1/200

津市雲林院福祉会館空調設備改修工事		縮尺 1/200
図面名称	R階平面図（改修前・改修後）	原図：A 3
津市建設部営繕課		No. 4/4